

笑顔とがんばりの町

おのまもち

議会だより

第3回定例会

- ◇平成23年度決算
一般会計59億6千万円を認定
- ◇平成24年度9月補正予算
JT跡地解体工事費などを補正
- ◇6人の議員が一般質問
(町長の政治姿勢・交通政策・
学校統合・健康づくりなどについて)
- ◇固定資産評価審査委員の選任など
3件の人事案件に同意



▲第24回ふくしま駅伝・ゴールにて



▲第24回ふくしま駅伝・スタートしたところ

議員提出議案の審査結果

陳情を受け、議員提出議案により意見書を内閣総理大臣等に提出しました。

議案名	提出者	審査結果	提出先
地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	竹川里志 議員	全員賛成で可決	内閣総理大臣ほか

意見書とは…

「地方公共団体の議会は、公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる（地方自治法第99条）」とされています。公共の利益の増進を図るため、議会に認められている権限です。

59億6千万円を認定

平成23年度決算及び平成24年度補正予算を審査するため、9月6日に予算・決算審査特別委員会が設けられました。以降5日間に亘り各担当課長の説明を受け、また現地調査を行うなど審査を行いました。決算の主な内容は次のとおりです。

平成23年度各会計決算

会計区分	歳入総額	歳出総額	決算の主な内容	
一般会計	64億58万円	59億6245万円	歳入は前年比で16%増えました。これは、交付税や県支出金、繰入金の増などによるものです。歳出は前年比で17%増えました。これは、東日本大震災に係る災害復旧費、原発事故対応関連支出、財政調整基金並びに東日本大震災復興支援基金積立金の増などによるものです。	
国民健康保険	12億9913万円	12億4392万円	国民健康保険に関する事業に要した経費です。国民健康保険税などの歳入が前年度と比較して0.3%の増、保険給付費などの支出が0.3%の減となりました。	
後期高齢者医療	9726万円	9686万円	高齢者の医療給付に関する事業に要した経費です。後期高齢者医療保険料などの歳入が前年度と比較して1.9%の減、後期高齢者医療広域連合納付金などの支出が1.2%の減となりました。	
介護保険	9億5805万円	9億3044万円	保険料などの収入を元に、介護サービスに関する事業に支出されました。前年度と比較して歳入で0.7%の減、歳出で0.1%の増となりました。	
介護保険サービス事業	384万円	384万円	役場内の地域包括支援センターにおける、介護保険サービス計画・介護予防プラン作成業務などに支出されました。歳入・歳出ともに前年度とほぼ同額となりました。	
浄化槽整備推進事業	8223万円	7733万円	平成23年度から新たに特別会計を設置し始められた事業で、町が浄化槽の設置と維持管理を行い、利用者から分担金と月額使用料を納めてもらうものです。	
文化・体育振興基金	372万円	351万円	文化・体育各団体へ活動補助金などに使われました。前年度と比較して歳入で9.5%の増、歳出で5.8%の増となりました。	
水道事業	収益的収支	1億5172万円	1億4326万円	収入は主に水道使用料、支出は浄水場等の維持管理や減価償却費等の経費です。前年度と比較して収入で0.6%の減、支出で1.1%の増となりました。
	資本的収支	2291万円	1億1673万円	

※1万円未満切り捨てて表示

公立小野町地方総合病院改築移転先となるJT跡地解体工事費など24年度予算を補正

平成24年9月補正予算

会計区分	補正額	予算総額
一般会計	4億3282万円	46億3512万円
国民健康保険	▲841万円	12億4272万円
後期高齢者医療	▲215万円	9957万円
除染対策事業	406万円	5705万円
介護保険	6448万円	10億2244万円
浄化槽整備推進事業	▲251万円	1億353万円
文化・体育振興基金	34万円	343万円

9月補正予算は、右の表のとおり全員賛成で可決しました。収入では、地方交付税の確定等による増額のほか、国庫補助金、県補助金などが増額となりました。支出では、公立小野町地方総合病院改築移転先となるJT跡地解体工事費、ポリオ及び高齢者インフルエンザ予防接種委託料、町道百目木・堀切線整備工事費のほか道路維持補修等に係る経費、郡山地方広域消防組合分担金、飯豊小学校及び小野新町小学校の消防設備修繕工事費、夏井第一小学校の井戸ボーリング工事費、土木施設災害復旧工事費などが増額計上されました。また、国民健康保険、後期高齢者医療、除染対策事業、介護保険、浄化槽整備推進事業、文化・体育振興基金などの特別会計では、各々、現時点での所要の収支調整をしたものです。

記事の訂正について

去る9月13日に発行しました議会だより131号の14ページに掲載しました議決した議案に係る見出し5件のうち、4番目の見出しに誤りがありましたので、次のとおり訂正してお詫びいたします。

(誤)「平成23年度小野町一般会計補正予算(第3号)」→(正)「平成24年度小野町一般会計補正予算(第1号)」

第3回定例会

9月6日～14日



▲第3回定例会

平成24年第3回定例会は、9月6日から14日までの9日間の会期で開かれました。会議では、平成23年度決算、平成24年度補正予算、条例改正、工事請負変更契約締結、人事案件、議員提出議案など22議案をそれぞれ原案のとおり認定、可決、同意しました。一般質問は、6名の議員が町政各般にわたり町長の考えをたずねました。

◆小野町防災会議条例を一部改正
災害対策基本法の改正に伴い、防災会議の掌握事務など、当該条例の関連する条項の一部を改正するもの。〈全員賛成で可決〉

◆小野町災害対策本部条例を一部改正
同様に、災害対策基本法の改正に伴い、条例中の災害対策基本法の条文引用の整理を行うもの。〈全員賛成で可決〉

◆小野中学校プール災害復旧工事 請負変更契約の締結について
小野中学校プールの付属棟の基礎工事部分の施工において、工事費の減額が生じたため、地方自治法第九十六条第一項第五号に基づき議決した。〈全員賛成で可決〉

本年九月二十八日で任期満了となる吉田昌布氏を、引き続き固定資産評価審査委員会の委員に選任したいとして、議会の同意を求められたもので、全員一致で選任に同意しました。任期は三年です。〈全員が同意〉

◆小野町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
前任者の二名の委員が、本年十一月四日で任期満了となるため、中村和彦氏、先崎千吉予氏を教育委員に任命したいとして議会の同意を求められたもので、全員一致で任命に同意しました。任期は四年です。〈全員が同意〉

◆町財政がより健全化 (地方公共団体の財政の健全性に関する比率の報告)
法律の規定により、町の財政の健全性に関する指標が報告されました。各数値は、健全とされる範囲内であり、かつ、前年度より改善しています。

小野町の財政の健全性に関する比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
小野町	平成23年度	—	11.1	—	—
	平成22年度	—	13.5	2.9	—
早期健全化基準 (黄色信号)	15.0	20.0	25.0	350.0	20.0
財政再生基準 (赤信号)	20.0	35.0	35.0		

※実質公債費比率…普通会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率。数値が小さいほど健全。
 ※将来負担比率…普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。数値が小さいほど健全。
 ※小野町では実質赤字や資金不足がないことから、それに関連する指標は「—」と表示しています。

陳情の審査結果

第3回定例会では、1件の陳情を審査しました。結果は次のとおりです。

件名	陳情者	審査結果
地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について	全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳	採択

一般質問

宇佐見留男議員、会田明生議員、吉田康市議員、宗像芳男議員、水野正廣議員、竹川里志議員が町政各般について質問を行いました。



宇佐見留男 議員

議会改革について

議会基本条例について

問 私たち総務文教常任委員会は、過日、兵庫県加西市において、議会基本条例制定までの経過と、その後の状況について行政調査を行ってきました。

基本条例制定の目的は、地方分権の時代において、二元代表制のもと首長及び執行機関とは緊張関係を維持しながら政策等の立案、決定、執行について監視機能及び立法機能を十分に発揮し、真の地方自治体の実現を目指すものです。

このような議会の考え方に對し、町長は



▲加西市での行政調査

どのように認識されているか、お伺いします。

議会の考えを尊重し協力したい

町長 議会基本条例については、議員の発言のとおりに二元代表制と分権時代を踏まえ、町民に身近な町政としての議会及び議員活動に必要な議会運営の基本事項を定めることにより、町民に身近な開かれた議会を目指すものと承知しています。

制定に向けては、議会の考えを尊重し、町としても協力する考えであります。

認定こども園について

幼児教育施設整備基本構想の進捗状況について

問 幼稚園と保育園の良いいところを生かす新しい仕組みを作ろうという観点から、「就学前の子供に関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」が制定されました。この法律に基づき、就学前の教育、保育ニーズに対する新たな選択肢である「認定こども園制度」が、平成十八年十月よりスタートしました。

が、現在の進捗状況はどうなっているか、伺います。

幼保一体化施設の早期整備を図る

町長 「幼児教育施設整備基本構想」をもとに、認定こども園の事例調査や、建設地などハード面での調査検討に加え、幼保体化連携のため、各幼児施設間での検討会議や実践活動に取り組んでまいりました。

小野町においても、「幼児教育施設整備基本構想」のもと総合施設の整備を推進するとなっている。

今後は、早期の施設整備に向け、建設候補地の選定や施設規模、運営面での検討を始め、施設整備に向けた取り組みを本格化させ、幼保一体化施設の早期整備を図りたい。

いじめ問題と防止対策について

いじめの把握と防止対策について

問 全国各地でいじめ問題が発生し、教育現場だけでなく社会問題となっているが、町長は、いじめについてどのような把握と防止策を講じているのか、伺います。

じめについてどのような把握をしているか。また、教育委員会ではどのようないじめ対策、防止対策を講じているのか、伺います。

早期の事案の把握と対応が重要と考える

町長 いじめは子供の人權にかかわる重要な問題であると認識しております。いじめ問題は子供たちだけでは解決できないことであり、大人にも大きな責任があると思います。こうした問題を解決するためには、早期の事案の把握と対応が重要と考えております。いじめの状況把握については、学校現場を監督する教育委員会が中心となり、対策を講じています。

教育委員会におけるいじめ防止対策については、教育長に答弁させます。

早期発見、早期対応に努める

教育長 各学校において、いじめの早期発見、早期対応に努め、いじめを把握した場合は、深刻化する前に学校と教育委員会が連携して対応してきました。このたびの大津市のいじめ事件報道を契機に、これまで以上にいじめの兆候をいち早く把握し、迅速に

対応するため、教育委員会において作成したいじめ等への対応マニュアルを各学校

町長の政治姿勢について

三期目の町長選挙への立候補について

問 これまでの二期八年の町政執行に採点をつけるなら、町長はどうか。

また、任期満了に伴う次期町長選挙の三期目の立候補に向けて、どのように考えられているか伺います。

町長三期目について 町向きに取り組む

町長 私は平成十七年三月に初就任以来、誠心誠意、全力で取り組んできました。小野町の将来を見据え、町民福祉の向上や町民が輝く小野町をつくるためには、行財政の改革と山積する問題の解決が喫緊の課題でありました。

今までに解決できた懸案事項、未解決な懸案事項、それぞれありますが、おかげさまでいかに、採点は控えさせていただきます。

町長三期目の立候補についての質問ですが、小野中学

に配布し、組織を挙げて対応する体制の整備に努めております。

校の建替え、携帯電話不通話地域と光ファイバー未敷設地域の解決、公立病院の建替え、町道等の整備、教育環境の充実等に取組んできたことであり、この積み重ねがさらなる小野町の発展、飛躍につながると思います。右支夏井川の河川改修事業は順調な軌道に乗せることができました。私は、本年、福島県治水協会の会長に就任したこともあり、大きな責任を感じております。

すばらしい小野町、住みたい小野町、住んでよかった小野町をつくっていくためには、様々な課題がありますが、これまで以上にみんなで力を合せて取り組む必要があると思っております。

町長三期目については、町民の皆様のご理解が得られることが前提ですが、前向きに取り組んでいく覚悟であります。



会田明生 議員

スポーツ施設を活用したまちづくりについて

住民の健康増進を図るため、トレーニング機器を導入してはどうか

問 昨今の健康づくりの課題、キーワードとして健康寿命の延伸、生活習慣病の予防が挙げられると思うが、これら二つの課題に共通する重要な取組みとして運動があると思えます。

当町において、誰もが身近に利用できるスポーツ施設として小野運動公園があり、町民体育館等の施設が整備されています。

住民の健康増進を図るための二つの手段として町民体育館にトレーニング

機器を導入し、健康増進の拠点として整備を図り、だれでも運動しやすいまちづくり、環境整備を図ってはどうか。

町民のニーズに応じたサービスの提供を検討したい

町長 現在、海洋センターのトレーニングルームに、十一種類のトレーニングが行えるコンピネーションマシンが一台と、八種類の個別トレーニング機器がありますが、これらは主に筋力トレーニング用の機器であ

り、トレーニングルームに、十一種類のトレーニングが行えるコンピネーションマシンが一台と、八種類の個別トレーニング機器がありますが、これらは主に筋力トレーニング用の機器であ



▲海洋センターのトレーニングルーム

具体的な導入の時期はどうか

問 二十五年度の予算に間に合う次期ですので、必要性の議論も必要だと思いますが、目標となる具体的な導入の時期を伺いたい。

できるだけ早く対応したい

町長 規模であるとか数量であるとか、検討すべき事項もあるが、できるだけ早く対応したい。

スポーツ施設がインターに近い環境を活かし、各種大会等の誘致による交流人口拡大を図ってはどうか

問 小野運動公園はインターチェンジから大変近い距離にあります。定住人口が減少を続ける小野町にとって、交流人口の拡大は地域経済に大きな役割を有する大変重要なものであります。国の試算によると、宿泊旅行者二十四人が定住人口一人当たりの消費額に相当し、日帰りの場合、七十九人が定住人口一人当たりの消費額に相当することとなります。

インターに近い運動公園施設を交流推進の地域資源の一つと位置付けし、各種大会等の誘致により交流人口の拡大を図ってはどうか。

町長 運動公園は、インターチェンジから約六百メートルと近く、交通アク

セブは大変良好であり、町としても交流人口の拡大を目指しアピールに努めています。

平成二十二年度において総利用者数十五万三千人、二十三年度において流人口の増加と観光の振興を図ってまいりたい。

自ら移動手段を持たない方への移動手段確保について

**自動車運転免許を
持たない方、免許を
返納された高齢者等
の移動手段確保策は
考えているか**

問 小野町の公共交通機関、とりわけ路線バスは利用者が減少し廃止された路線が多々あります。

小野町では単身高齢者世帯等も増加しており、自動車運転免許を持たない方、免許を返納された高齢者等の移動手段の確保が必要で。

今後、どのような移動手段の確保策を講じるかがあるのか、伺います。

人程度に落ち込みましたが、今年度は多くの各種大会が開催されています。

今後もアクセスのよき、利用しやすさをPRし、各種大会等の誘致を行い、交流人口の増加と観光の振興を図ってまいりたい。

**公共交通の確保、
充実に関する取組みを
再度、検討してまいる**

町長 平成二十二年度に町内三つの地域で巡回バス運行試験を実施しましたが、利用人数が少なかつたため、利用者等の意見等も踏まえた効率的、効果的な公共交通のあり方を検討する必要があります。

また、平成二十三年度には小野町公共交通活性化協議会を立ち上げ、公共交通の活性化と利便性の高い公共交通システムの構築を図るため、協議を行っていただいております。

既存の公共交通システムを有効活用しながら、交通弱者を始め、町民の皆様が安心して日常生活を送るため、公共交通の確保、充実に関する取組みを再度、検討してまいります。

広報誌等で今後の事業進展の経過報告をするとは可能か

問 新公共交通システム整備事業が平成二十四年度の重点事業として位置付けされている割には、その経過が見えてきません。

**住宅裏山等の土砂災害
に対し町独自の施策を
実施してはどうか**

問 土砂災害の対応については、治山事業を含め災害防止のための工事が行われていますが、国県の事業で工事を行うには、対象戸数等の条件を満たす必要があり、実施できない場合もあります。

住宅の裏山等における土砂災害に対し、国・県事

会議が開かれた後の結果であるとか、懇談会の後の内容といったものを皆さんにお知らせして、よりよい仕組みづくりを構築する必要があると思うが、広報誌等で今後の事業進展の経過報告をすることは可能か、伺います。

町長 検討結果の内容等については、できるだけお知らせして、町民の皆様からもいろいろなご意見を賜わりたいと思います。

土砂災害等への対応について

業に該当しない場合であっても、災害から住民の生命と財産を守るため、町独自の施策を実施してはどうか。

国・県に対し補助要件の緩和等も要望しながら対応したい

町長 住宅の裏山等の対策についても、今後取組んでいかなければならぬ課題の一つと思います。

危険度や財政状況を踏まえ、どのような対応が有効なのか、どのような助成方法ができるのか、国・県に対し補助要件の緩和等も要望しながら対応してまいりたい。

**予防に重きを置くのか、
事後の対策に重きを
置くのか**

問 この土砂災害に対する対策として、予算的な問題等もあるかと思うが、予防に重

GISによる地図情報の共有と活用について

**地籍調査の成果を
さまざまな行政分野で
活用するため、GIS
を導入してはどうか**

問 小野町の地籍調査事業は、平成十年度までに国有林等の一部を除き事業が完了しております。

地籍調査の成果は土地に関するさまざまな行政分野と連携させ活用することができそうです。

そこで、GISを導入してはどうか、町長の考えを伺います。

きを置くのか、事後の対策に重きを置くのか、対応の仕方について、考えを伺います。

予防の措置が必要

町長 事故が起きてからでは遅いので、予防の措置が必要かと思うが、どこまでの範囲が予防なのか、どれだけのコストがかけられるのか、町としての対応がどのようなものが適切にできるのか、検討を加える必要があると考えます。

**セキュリティ対策、
費用対効果等々、
研究を進めたい**

町長 現在、町においては単体型GISとして、税務課、農林振興課、地域整備課、社会福祉協議会にそれぞれシステムが導入されており、それぞれの課で利活用するとともに、各課等への情報提供に努めています。

議員ご発言の統合型GISの導入については、

企業誘致について

**企業誘致活動を、
今後のように
進めようか**

問 大震災、原発事故以来、企業誘致に関しては大変厳しい状況にあります。

前回の定例会で鶴庭工業用地の無償提供について質問が出されましたが、それを含めて福島県

東京事務所への職員の派遣、町独自の補助等の考えはないか、また、町長のトップセールスと企業誘致活動を今後どのように進めていくのか伺います。

**企業のニーズ等を踏まえ
支援策を検討する**

町長 鶴庭工業用地を中心に、町内への立地を促すため精力的なトップセールスを実施するなど、町の最重要施策として企業誘致を現在にも増して重点的に進める必要があると考えています。

鶴庭工業用地の無償提供や町の独自支援につい

ては、企業のニーズ等を踏まえながら、必要に応じて支援策を検討してまいります。

職員の福島県東京事務所への派遣については、一定の効果が期待されると思いますが、当面は私を含め関係職員が、できる限り多く東京事務所を含めた関係機関を訪問するなどして、最大限の努力をしてまいります。

**町内既存企業への
支援策について**

問 大震災、原発事故以来、町内既存企業においては、何かと厳しい状況にあると思われま

株式会社アドバネクス 福島工場の突然の撤退は町の雇用や経済にとつて大きな損失でした。

このように既存企業が撤退することがないよう、町としても支援策を考えていかなければならないと思います。また、既存企業への訪問を行い情

報交換や企業動向の把握に努める必要があると思えますが、町長の考えを伺います。

**企業と連携を密に、
町独自の支援策を
検討したい**

町長 私自身も今までも増して既存企業の訪問を行い、企業側と連携を密にしていきたい。

また、六月には町内既存企業等による情報交換、意見交換の場として「小野町立地企業等懇談会」を開催したところであり、企業側のご意見やご要望に迅速に対応できるよう進めてまいりたい。その中で、必要に応じて町独自の支援策について検討を行ってまいりたい。

**鶴庭工業用地の
今後の利活用について**

問 鶴庭工業用地は企業誘致のための用地であり、年々進出していない状況です。

すべれた交通アクセス、広大な面積の土地を

企業誘致以外の別の形で有効利用を考えているのか、伺います。

**優良企業の誘致を
目指している**

町長 鶴庭工業用地は、工業製品製造業等の立地のため取得した用地であり、福島県企業立地課や福島県東京事務所と連携を取りながら企業誘致を進めてきました。

今後の利活用については、多くの雇用確保が見込める工業製品製造業を中心に誘致活動を展開していますが、安定した雇用確保と町の活性化が図られる場合などは、業種に捉われず柔軟に対応していきたいと考えています。

私もトップセールスを充実させるなど誘致に向けて努力をいとわず、日も早い優良企業の誘致を目指してまいります。



吉田康市 議員

問 複数の課や組織で地図を作成し、提供しているとのことであるが、例えば、単身高齢者の世帯と土砂災害の発生の心配のある場所などの情報を重ねるなど、担当課の枠を超えた中で情

さらに研究を進めたい

町長 統合型GISのどれを組み合わせるの一番町民サービスになるのか、費用対効果はどうかなど、さらに研究を進めてまいりたい。

報を共有していく仕組みの検討など、有効に利用する方法がまだまだあると思います。

洪水等も想定したハザードマップを作成してインターネット上で防災を呼びかけている市町村の事例などもありますので、そういった検討を継続していく必要があると思うが、町長の考えを伺います。

システムの今後の進化、情報のセキュリティ対策、費用対効果、データ更新に係る労力等を含めた総合的な評価、及び町事業の中での優先順位等々も含めて、研究を進めてまいりたい。

システムは今後の進化、情報のセキュリティ対策、費用対効果、データ更新に係る労力等を含めた総合的な評価、及び町事業の中での優先順位等々も含めて、研究を進めてまいりたい。

システムは今後の進化、情報のセキュリティ対策、費用対効果、データ更新に係る労力等を含めた総合的な評価、及び町事業の中での優先順位等々も含めて、研究を進めてまいりたい。

交通安全対策について

事故防止対策、及び今後の交通対策の取り組みについて

問 最近、通学途中に車が突っ込み数多くの死傷者が出たこの報道がありました。我が町でもこういった事故がいつ起こるか分かりません。町として、児童生徒、そして高齢者の事故防止対策をどのようにとっていくのか伺います。

また、田村地区交通安全協会小野支部の事務局を町にお願している状況ですが、今後、町としては、交通安全協会とどのように交通安全を進めていくのか、伺います。

通学路の二斉点検等を行った

町長 七月中旬に町内各小学校の通学路の二斉点検を行いました。点検の結果、早急な対策が求められた交通安全施設の設置等については、今定例会に補正予算として計上

したところです。また、国道への歩道設置等の改良を併う箇所については、関係機関への要望活動に努めてまいります。

次に交通対策についてですが、町としても関係団体とさらに連携を深め、全町一丸となった交通安全運動や安全対策活動の中心的な役割を担いながら、交通安全対策を講じてまいります。

百目木・堀切線の整備について

問 百目木・堀切線は、震災後、路肩崩壊など道路状況が大変悪く、いつ重大な事故が発生してもおかしくない危険な状態です。平成三十年度には残りの工事区間が完了とのことですが、大変危険な路線ですので、少しでも早い全線完成が望まれます。日でも早い全線完成について町長の考えを伺います。

平成三十年度には残りの工事区間が完了とのことですが、大変危険な路線ですので、少しでも早い全線完成が望まれます。日でも早い全線完成について町長の考えを伺います。

国・県に事業費の確保を要望し、早期全線完成を図りたい

町長 現在、前延長四千九百メートルのうち、三千メートルの拡幅工事が完了しております。今年度は三千万円の事業費で約百メートルの道路改築及び舗装工事を実施



▲百目木・堀切線の未改良部分

観光施設の環境整備について

夏井千本校周辺施設の環境整備について

問 夏井千本校は越前自動車道開通時から急速に観光客が増加し、小野町としては最高の観光資源となりました。夏井地区農村公園も、平成十九年には千本校展望台と桜記念碑を建設し、平成二十二年には桜大鳥居を植樹するなど、さらなる観光を目指して地元住民等が努力し

ている所であります。この大切な観光地の環境整備と観光資源の保存育成について、町長の考えを伺います。

できる限りの対応をとりたい

町長 夏井千本校や諏訪神社周辺観光資源については、交流人口の増加を図ることからも重要な観光資源と認識しておりますので、環境整備と保存育成については、地元団体

のほか関係機関等と十分協議の上、できる限りの

産業廃棄物処分場について

公害等防止協定を含め、現在の進捗状況について

問 塩庭一区内の産業廃棄物処分場について、地元住民は不安の中、生活を送っています。

町は地元住民の不安を少しでも取り除く努力をしていると思いますが、公害等防止協定を含め、現在の進捗状況を伺います。

公害等防止協定について、素案を作成した段階

町長 塩庭宇熊田地内に設置されている産業廃棄物処分場については、昨年十一月に九品目での産業廃棄物処分場の許可が県よりなされました。町としては、地元住民との話し合いや説明会などを開催してまいりましたが、県より許可がおりている現状を鑑み、公害等防止協定の締結により、

対応してまいります。

隣接行政区等への説明について

問 産業廃棄物処分場については、下流域の行政区も大変不安を抱いています。下流域の夏井行政区、及び南田原井行政区への説明、及び町全体への説明について、町長の考えを伺います。

隣接行政区については、早期の説明機会を設けたい

町長 下流域の隣接行政区については、早期の説明機会を設けたい。

全町的な説明については、下流域での説明会は、状況なども踏まえ、検討してまいります。

状況なども踏まえ、検討してまいります。



宗像芳男 議員

小野町地域新エネルギービジョンについて

原子力エネルギーの利用について

問 福島第一原発事故は、本県を始め東日本各地に深刻な放射能汚染を起し、農林水産、酪農、商業経済活動に及び、今なお事故は完全収束をせず、浜通り地方においては本格的な復旧、復興の兆しが見られない現状であります。

また、全県民が日々健康に不安を抱きながら放射能との長い戦いが続いています。

国民は、脱原発か減原

発か、それとも原発依存か等、議論の最中です。町長はどのような所見を持っておられるかお聞きします。

なくさなければならぬことを考える

町長 昨年の福島第一原子力発電所事故以来、現在も続いている悲惨な状況から、原子力発電所はなくさなければならぬと考えております。

バイオマス事業について

問 町は、今後のエネルギー政策として小野町地域新エネルギービジョンを策定し、基本理念として「太陽(ひかり)と森林(もり)にいきつくエコ(eco)のまち」となっており、今後、積極的に導入すべきエネルギーとして、太陽光、太陽熱、そしてバイオマスエネルギーであると書かれております。我が町では、今後どのような形で推進していくのかお聞きします。

取り組みを進めてまいりたい

町長 地球温暖化を防止するため、平成二十二年に小野町地域新エネルギー政策として小野町地域新エネルギービジョンを策定し、基本理念として「太陽(ひかり)と森林(もり)にいきつくエコ(eco)のまち」となっており、今後、積極的に導入すべきエネルギーとして、太陽光、太陽熱、そしてバイオマスエネルギーであると書かれております。



▲真庭市でのバイオマス施設視察調査

また、ペレットストーブの導入実績や太陽光の発電実績とか、分ける範囲内でお聞きしたい。

目標数値は高く設定してほしい

町長 目標数値はかなり高く設定していただきますので、なかなか難しい目

新エネルギーの導入目標は達成可能か

問 新エネルギービジョンの概要版に、新エネルギーの導入目標が掲げられているが、策定年度内に達成可能なのか。

また、ペレットストーブの導入実績や太陽光の発電実績とか、分ける範囲内でお聞きしたい。

新エネルギー推進委員会の活動について

問 小野町地域新エネルギービジョン策定後の推進体制として、関係各課で構成する新エネルギー推進委員会を設置し、ビジョン実現に向けた具体的な方策の検討、普及、啓発活動などに関する施策の検討、事業の

今年度は二回開催

町長 小野町地域新エネルギービジョン庁内推進委員会について、今年度はこれまで二回開催し、取組み状況の検証や各種事業の検討等を行っています。

平成二十三年度の検証結果については、震災の影響により太陽光発電設置に対する補助事業が当初の見込みを大きく下回ったことや、ペレットストーブの導入が低迷していることなどを確認し、平成二十四年度以降における新エネルギーの更なる普及推進の方策について、検討を行いました。

学校統合問題について

浮金中学校統合について

問 町内の二中学校を一校に統合する方針であるが教育委員会が明確に示されなかった。

教育委員会による保護者へのアンケートによると、約七十パーセントが賛成とのことですが、浮金行政区民の意見が集約されたが、甚だ疑問であります。

浮金行政区は、小野町合併以来たまた度も絶えることなく行政区民が一丸となって文化体育祭を開催し、歴史と文化と伝統を培ってきました。特に秋の文化体育祭は中学校を核として体育と収穫の喜びと地域の絆を強くする源です。中学校が無くなる地域が益々衰退していくのではと危惧しています。

区民に十分な説明と今後の対策等を含めて対話を重ねて理解を求めるべきと思いますが、町長の考えをお聞きます。

説明会を開催し、懇切丁寧な協議を進める必要があると考える

町長 学校の統廃合については、地域の皆様のご意見が大変重要と考えております。少子化が進む社会環境から統合の方針が示されましたが、根底にあるのは、子供たちによりよい教育環境を提供することであると思います。教育委員会における保護者との話し合いにおいて、疑問点や心配な点、要望など多くの意見が出されましたが、おおむね前向きな方向で終了したとお聞きしています。

最良の教育環境を提供するために中学校の統合を進めたいとする教育委員会の考えを尊重したいと考えますが、地域の皆様のコンセンサス、ご理解が最も重要と認識しています。

地域全体での説明会ができるだけ早く開催し、懇切丁寧に協議を進める必要があると考えています。

公立小野町地方総合病院建設について

建設予定地変更の経過について

問 六月定例会における私と二名の同僚議員の病院建設予定地に係る質問に対する町長答弁の内容と、わずか一月後に受けた行政報告の内容が違う結果になった経過についてお聞きたい。

現在地での建て替えは制約が多く困難

町長 震災の影響がなかった新館を引き続き利用し旧館の立て替えを図るとして、現在地での建て替えを念頭に進めてきましたが、工事に伴う診療及び患者への影響、工法、工期、費用等について検討精査の結果、現在の診療を維持



▲病院建設地のJT跡地

しつつ工事を進めるには、様々な制約が多く、非常に困難があることや、工法や設計施工が複雑になり、工期の延びや費用の増大の恐れがあることなどから、新たな用地で全面建て替えが適当であるとの結論に至りました。

六月議会での一般質問の答弁と異なることになり、改めて陳謝するとともに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

新病院の概要について

問 建設される新病院の概要について、お聞きます。

町長 新しい病院については、病院建設マスタープランにおいて、規模、機能、運営方針、整備スケジュールなど協議の詰めの段階と聞いています。

お聞きした内容を申し上げますと、敷地面積については、JT跡地になります。

すが、七千九百平方メートル弱、延べ床面積八千五百平方メートル程度の施設規模を想定しています。

外来診療科目は現在の診療科目が維持されるほか、入院病床も現在の病床と同数となります。

また、十二月に配置予定のホールボディカウンタによる内部被ばく検査の継続実施、甲状腺検査体制の充実などを図るとしています。

町長の政治姿勢について

今後の町政運営の方針について

町長 常日頃から信頼関係を築くよう心がける

問 町長と議会の関係は、一歩近づき一歩離れるという間合いで、常に町民、町政伸展のため車の両輪のごとく、進行方向は同じ向きであるべきだと思います。それには信頼関係がなくては前に進まないのではないかと。

町長と議会の関係は車の両輪によく例えられますが、お互いの信頼関係が必要不可欠であることは私も同感であります。

今後、町政を運営するに当たり、どのような方針でいくのか、お聞きます。

常日頃から信頼関係を築き、議会に対して誠意を持って出来るだけ早くお知らせをし、協議をお願いするよう心がけていきたいと思います。

道の駅構想について

今まで、検討なり協議した経緯があるか

問 道の駅について、町おこし、地域おこし、地域情報発信基地、観光案内所、地域振興の拠点、さらには地域活性化の起爆剤という考えのもと、全国各地に九百八十数カ所設置されております。地域活性化のために特色ある施設の設置を検討している市町村もあります。

先進事例等について調査を行った

町長 昨年九月の定例会において交流人口増に

水野正廣 議員



つながらる施設として道の駅のご提案があり、また、本年七月に開催しました商工会、議会、町の三者による懇談会において、商工会より定住と交流人口を図るための施設としてご提案があったことを踏まえ、町として先進事例等について調査を行ってまいりました。

情報の発信、地域振興の拠点としての有効性や、様々な波及効果が期待されていますが、設置や国の登録には様々な条件等がありますので、関係団体とも連携し、引き続き調査、検討を行ってまいります。

インター周辺の整備構想について

問 道の駅設置については、高速道のインターからの利用も含め、まちづくり、地域活性化の拠点づくりとして進めるべきと考えます。

そこで、町の人口、高速道のインター周辺の総合

移住促進を考えた中での住宅政策について

避難されている皆様の受入体制を整備してはどうか

問 昨年の原発事故以来、双葉地方では、避難を余儀なくされ、長期的に帰還困難とされる方々が数多くおられます。

仮の町構想が浮上し、福島市、郡山市、いわき市、会津若松市など大都市が移転先としてあげられています。様々な問題点も指摘されています。

そこで、小野町においても受入体制を整備して、避難されている皆様の移転先、移住先として、ご協力

的な整備について、どのような構想をお持ちか、伺います。

具体的な計画は無い

町長 インターチェンジ周辺の土地の開発、あるいは総合的な整備等については、現在のところ具体的な計画は持っておりません。

されてはいかかかと考えますが、ごどのように考えるか伺います。

様々な支援を行ってきたい

町長 当町においては、長期避難が想定される皆様、再び安全で安心して住むことができ、帰還を望まれる方々が帰還できるまで、生活基盤など居住機能等を置く地域の二つとして、様々な支援を行ってきたいと考えております。

空き家情報の提供について

問 定住促進策として、空き家情報を提供するシ

ステム、いわゆる空き家バンク等を創設し活用すべきと考えますが、町長の考えを伺います。

担当課に検討をせたい

町長 町民の方、あるいは地域の方々が、住まいの情報、あるいは空いている土地の情報を求めていることは私も承知しておりますので、町としても何らかの形で情報の提供ができる体制を構築していく必要があるのかなと思っておりますので、担当課に検討をさせたいと思います。

町営住宅マスタープランの策定について

問 町営住宅について、公営住宅法では何点かの役割をうたっておりますが、社会状況の大きな変化とともに公営住宅のあり方、今後の方向性を検討すべき

時期に来ているのではないかと考えます。長期的視点に立つて町営住宅マスタープランの策定を検討すべきと考えますが、ごにお考えか伺います。

住宅マスタープラン等の抜本的な策定の検討が必要と思う

町長 老朽化住宅を多く抱える町としては、公営住宅のあり方や今後の方向性を検討すべき時期に来ていると考えています。

今後については、住宅需要の動向を十分に把握えたと、老朽化住宅の建て替えや既存住宅の長寿命化等も踏まえた住宅マスタープラン等の抜本的な策定の検討が必要だと思いますし、安心して居住できる環境の整備、定住の促進を図ってまいりたいと考えています。

町長の描く町の将来像について

今後の町の将来像、方向性について

問 二期七年余りに亘り町政を担当し、まちづく

りを進めてきた中で、反省点も含めて今後の町の将来像、方向性を具体的に伺います。

全体的な笑顔で頑張れる
まちづくりを推進する

町長 右支夏井川の河川改修や小野町地方総合病院の移転新築が具体化するなど小野町のまちづくりは大きな転換点を迎えており、これを契機に改めて子供からお年寄りまで全体的に笑顔で頑張れる幸せな町、そのようなまちづくりを推進してまいります。



竹川里志 議員

公立小野町地方総合病院について

必要性を期待する
高度医療、産婦人科等を
含めた病院になるのか

問 公立小野町地方総合病院の建て替えがヤマト福祉財団の助成により道筋が見え、小野町民や構成市町村も期待しており、まちづくりの最重要かつ将来の魅力あるまちづくりの拠点となると思っております。

病院建設において、地域医療環境や診療機能のデータを踏まえ、必要性を期待する高度医療、産婦人科、緊急医療を含めた病院になるのか伺います。

町長 病院建設については、基本的事項を定める病院建設マスタープランの策定に向け、病院当局において最終的な調整を行っているところであります。

ただいま把握している基本的な方向性について申しあげますと、基本的に現在の規模、機能が維持されます。

また、地域内の各医療機関と郡山市、いわき市などの高度先進医療、第二次、第三次救急を行う医療機関との中間に位置する病院であり、それぞれの医療機関と連携、協力し、相互に補完することで、地域住民の皆さんが充実した医療サービスを受けることが可能となるものです。

夜間休日の救急診療については、常勤医師の確保など必要な診療体制の整備を行い、早期の再開を目指すこととしており、産科診療についても、産科医の確保など診療体制の整備に努め、分娩までを可能とする産科診療の再開を目指すこととしております。

また、放射能事故対策として内部被ばく検査の実施、甲状腺検査体制の充実を図るようしております。

町長 病院建設については、基本的な方向性について申しあげますと、基本的に現在の規模、機能が維持されます。

問 病院の移転先には、現在、保健福祉センターやシルバー人材センターなどの施設があるが、これらの移転先はどうする

約の配慮などの計画はどのようになっているか伺います。

全面的改定版のハザードマップを配布するまでは、広報誌や回覧、ホームページなどにより具体的な避難場所や避難方法などの各種防災情報を適宜お知らせし、所要の対応をしてまいります。

目の審議会等への若く世代の参加について

審議会等への若く世代の参加について

問 パブリックコメントとして町の審議会なり委員会の役割は重要ですが、これからの小野町を考えるうえで重要な二十代、四十代の若い世代に積極的に参加してもらい、意見を聞き、まちづくりの反映させていくべきと思いが、町長の考えを伺います。

町長 町の施策の適切な執行、あるいは政策を立案

できるだけの民意を反映できるように努める

河川改修に伴う家屋移転について

右支夏井川河川改修に伴う家屋移転先について

問 右支夏井川河川改修

するためには、広い範囲の町民の皆様の民意を反映することが重要かと思っております。

各種の審議会及び委員会の構成については、社会経験豊富な年代の方々や若い方々に参画をいただいておりますが、これからの小野町を担う若い世代の方への委嘱、女性の委員の委嘱についても関係各課に指示をしてまいります。

できるだけの民意を反映できるように努めていきたいと思っております。

に伴う家屋移転対象の世帯が、将来、希望を持って移転できる場所や意見の集

また、地域内の各医療機関と郡山市、いわき市などの高度先進医療、第二次、第三次救急を行う医療機関との中間に位置する病院であり、それぞれの医療機関と連携、協力し、相互に補完することで、地域住民の皆さんが充実した医療サービスを受けることが可能となる

夜間休日の救急診療については、常勤医師の確保など必要な診療体制の整備を行い、早期の再開を目指すこととしており、産科診療についても、産科医の確保など診療体制の整備に努め、分娩までを可能とする産科診療の再開を目指すこととしております。

また、放射能事故対策として内部被ばく検査の実施、甲状腺検査体制の充実を図るようしております。

町長 病院建設については、基本的な方向性について申しあげますと、基本的に現在の規模、機能が維持されます。

問 病院の移転先には、現在、保健福祉センターやシルバー人材センターなどの施設があるが、これらの移転先はどうする

約の配慮などの計画はどのようになっているか伺います。

全面的改定版のハザードマップを配布するまでは、広報誌や回覧、ホームページなどにより具体的な避難場所や避難方法などの各種防災情報を適宜お知らせし、所要の対応をしてまいります。

子育て支援について

延長保育など各施設で同一の支援を提供できない理由などについて



▲河川改修が進められる右支夏井川

他の施設の延長保育の時間が異なり、仕事と育児の両立を支援する内容が違い、子供さんを預けるのに苦慮していると聞きます。

これらの事情をすくい上げる細かい配慮や、行政側から困っていませんかという呼びかけや、相談できる体制が大事かと思っております。

最近の働くお母さんの実態の把握をしてきたのか、近隣市町村の子育て支援の実態調査は行っている

のか、また、病院移転に伴い、振興計画等の変更はあるのか、伺います。

施設の移転先や振興計画の変更について、検討している

町長 移転先である旧J跡地の保健福祉センターは、子供の健診業務等に利用していますが、母子健康センター等の他施設での実施が可能であり、大きな支障はないと考えています。

振興計画の変更については、平成二十八年年度からの後期基本計画において、内容等の検討をまいります。

病院跡地の利用について

問 病院が移転した後の土地利用の計画があるのか、新館病棟を取り壊さないで有効利用は考えられないか。新館建物を子育て支援の拠点や健康センター、介護施設などに再利用すれば取り壊し費用も浮くと思うが、どう考えるか伺います。

地権者の方々には、様々な事情を抱えて心配なされているところであり、

町としましては、

地権者の方々から十分お話しをお聞きし、県と協力し問題解決に積極的に取り組むなど、誠心誠意対応してまいりる所存です。

子育て支援について

延長保育など各施設で同一の支援を提供できない理由などについて

他の施設の延長保育の時間が異なり、仕事と育児の両立を支援する内容が違い、子供さんを預けるのに苦慮していると聞きます。

これらの事情をすくい上げる細かい配慮や、行政側から困っていませんかという呼びかけや、相談できる体制が大事かと思っております。

最近の働くお母さんの実態の把握をしてきたのか、近隣市町村の子育て支援の実態調査は行っている

今後のまちづくりの中で総合的に判断する

町長 病院移転後の跡地については、旧J跡地との交換を念頭に進め

生涯を通じた健康づくりと高齢者の福祉の充実について

個人が利用できるスポーツ環境の整備とインスタクター養成について

問 現在の小野町では、各種団体スポーツなどは体育館などの施設で盛んに行われていますが、病氣予防や健康維持のために個人が利用できるスポーツ施設はありません。

将来の医療費負担を抑えるため、病氣予防の観点から、町民入りが自分の健康を考え利用できる施設を整備する必要がありますかと思っております。

町長 運動は、生活習慣病やメタボ対策に生活とともに大きな影響があり、個人個人の運動の習慣化が重要であります。

ハザードマップについて

ハザードマップの進捗状況について

問 去年の災害から二年六カ月たつが、ハザードマップの検証や見直しの

ており、原則的に更地にして交換することを考えていますが、今後のまちづくりの中で総合的に判断してまいります。

スポーツインスタクターの養成を考えるとどうか、伺います。

健康管理やスポーツ振興の観点から検討してまいります

町長 運動は、生活習慣病やメタボ対策に生活とともに大きな影響があり、個人個人の運動の習慣化が重要であります。

個人が利用するスポーツ環境の整備やインスタクター等についても、今後、健康管理やスポーツ振興の観点から検討してまいります。

検討は行ったのか、いつ頃までに完成し、町民にどのような形で周知徹底するのか伺います。

自治体クラウド等について

自治体クラウド等の導入によるメリットはあるのか

問 自治体クラウド事業及び防災行政無線施設整備事業に、合せて一億円以上もかけて導入するメリットはどこにあるのか、伺います。

保護者会や送迎時などに保護者の皆様の声をお聞きし実情を把握するよう努めています。

近隣市町村の実態については、研修会等においては、研修会等において、情報交換を行い情報の収集に努めています。

各施設の子育て支援状況

況は、中央さくら保育園において保育時間を一時間延長する延長保育事業を、夏井おおすぎ保育園においては、保育園への入園要件を満たさないお子様を受け入れるための二時保育事業を、それぞれ実施しております。

センターに配し、ネットワーク経由で利用するための機器の整備、システムの構築を行い、重要な住民情報等を安全に管理し、大規模な災害時にもシステムの速やかな復旧と運用を確立してまいります。

防災行政無線施設整備事業については、昨年の震災時に避難施設になった町民体育館及び小野町多目的研修集会施設にデジタル無線子局を設置し、役場庁舎の親局もデジタル化し、避難施設としての強化を図るものです。

大規模災害時にも住民情報等を安全に管理する

町長 自治体クラウド導入につきましては、金額、国の補助、特別交付税措置を受けて整備を進めているもので、住民基本台帳や税情報などの基幹データ、ハードウェア、ソフトウェアを外部のデータ

センターに配し、ネットワーク経由で利用するための機器の整備、システムの構築を行い、重要な住民情報等を安全に管理し、大規模な災害時にもシステムの速やかな復旧と運用を確立してまいります。

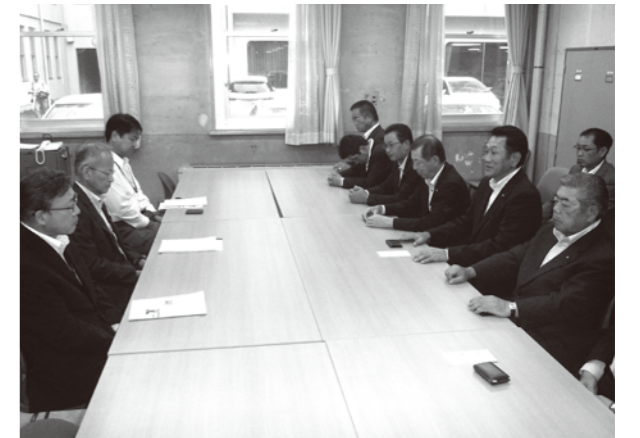
防災行政無線施設整備事業については、昨年の震災時に避難施設になった町民体育館及び小野町多目的研修集会施設にデジタル無線子局を設置し、役場庁舎の親局もデジタル化し、避難施設としての強化を図るものです。

公立病院の整備支援などについて 県庁へ要望書を提出しました 9月28日

小野町議会では、9月28日、議員全員で福島県庁を訪問し、建て替えが計画されている公立小野町地方総合病院の整備支援および医師の確保についての要望書を保健福祉部長へ、また、右支夏井川河川改修事業の建設促進および主要地方道小野富岡線、一般県道吉間田滝根線の整備促進についての要望書を土木部長へ提出してきました。



▲県庁保健福祉部にて



▲県庁土木部にて

なお、主要地方道小野富岡線および一般県道吉間田滝根線は、小野町と浜通りの市町村を結ぶ重要路線です。

9月 September

- 1日 ■第19回町民グラウンドゴルフ大会
(多目的グラウンド)
- 2日 ■小野町防災訓練
- 3日 ■第24回市町村対抗福島県縦断
駅伝競走大会小野町チーム結団式
(小野町B&G海洋センター)
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 議会広報編集委員会
- 5日 ■第54回福島県中学校駅伝競走
大会田村支部予選大会
- 第25回福島県中学校女子駅伝競
走大会田村支部予選大会(田村市)
- 6日 ■第3回定例会開会
- 厚生産業常任委員会
- 総務文教常任委員会
- 7日 ■第3回定例会一般質問
- 予算決算審査特別委員会(14日まで)
- 全員協議会
- 13日 ■予算決算審査特別委員会現地調査
- 全員協議会
- 14日 ■第3回定例会閉会
- 月例全員協議会
- 15日 ■菅布禰神社例大祭(浮金)
- 公立小野町地方総合病院企業
団議会臨時会

10月 October

- 15日 ■特別養護老人ホームこまち荘
敬老会(特別養護老人ホームこま
ち荘)
- 17日 ■第51回小野町敬老会(多目的研
修集会施設)
- 19日 ■第35回小野町小学校陸上記録
会(多目的グラウンド)
- 米の全袋検査稼働式(小野米
調べるセンター)
- 23日 ■第8回町民ゴルフ大会(千本桜
リゾートゴルフクラブ)
- 25日 ■例月出納検査
- 28日 ■県庁要望活動(福島市)
- 三春病院視察(三春町)
- 29日 ■塩釜神社例大祭(塩釜神社)
- 30日 ■市町村対抗軟式野球大会(福島市)
- 7日 ■第15回町民大運動会(多目的
グラウンド)
- 10日 ■企業対策特別委員会企業訪問
- 月例全員協議会
- 12日 ■小野町老人クラブ連合会会長杯
グラウンドゴルフ大会(小野総合
運動公園)

議会活動日誌

- 1日~3日 ■決算審査(書類審査)
- 3日 ■第1回小町ふれあいフェスタ実行委員会
- 5日 ■田村地方PTA連合会研究大会(田村市)
- 小野町家庭バレーボール協会第
19回議長杯大会(町民体育館)
- 7日 ■郡山地方広域消防組合議会議
員行政視察(東京都)
- 9日 ■小野町戦没者追悼式(勤労青少
年ホーム)
- 10日 ■企業対策特別委員会(企業訪問)
- 月例全員協議会
- 15日 ■おのまち夏まつり(小野新町小
学校グラウンド)
- 17日 ■百歳賀寿贈呈式(吉野辺)
- 21日 ■全員協議会
- 22日 ■第42回阿部トロフィー大会(町民
体育館)
- 29日 ■町村議会正副議長・事務局長
研修会(福島市)
- 公立小野町地方総合病院企業
団議会臨時会
- 30日 ■議会改革特別委員会研修会
- 全員協議会
- 14日 ■大交歓会(勤労青少年ホーム)
- 15日 ■田村広域行政組合議会(三春町)
- 16日 ■公立小野町地方総合病院企業
団議会定例会
- 17日 ■阿武隈高原中部観光連絡協議会
(田村市)
- 18日 ■小野町小・中学校音楽祭(多目的
研修集会施設)
- 田村広域行政組合10月定例会
- 19日 ■広野町意見交換会(広野町)
- サマーキャンプ中学生の翼報告会
(勤労青少年ホーム)
- 21日 ■小野町消防団秋季検閲式(多目的
グラウンド)
- 22日 ■町村議会議員研修会(郡山市)
- 田村地方植樹祭(三春町)
- 25日 ■例月出納検査
- 郡山地方広域消防組合議会10
月定例会(郡山市)
- 田村地方首長会議(郡山市)
- 27日 ■新小祭り
- 浮金小学校学習発表会
- 飯豊小学校学習発表会
- 湯沢来迎寺地藏堂落慶法要(湯
沢体験農園)
- 28日 ■第57回浮金文化祭・体育祭(浮
金中学校)

8月 August

笑顔でがんばってまわす!

このページでは、笑顔でがんばる町民のみなさんを紹介しします。
今回は、「小野町菊花愛好会」を紹介しします。
インタビューには会長の吉田栄伸さんが応えてくれました。

小野町菊花愛好会は、今年、二本松市で開催された福島県菊花
品評大会の団体の部で三等賞を受賞されました!!おめでとう
ございました。



▲会長の吉田栄伸さん

どのような活動をしていますか?

実技研修会や先進地視察研修などを行っているほか、小町
ふれあいフェスタへの出品を始め各種品評会等へ出品する
などの活動を行っています。



▲小町ふれあいフェスタへの出品



▲小町ふれあいフェスタへの出品

やって良かったと思ったことは?

この活動を通じて、小野町内を始め平田村や田村市な
ど広範囲の人と交流を持つことができ、やって良
かったと思います。

今後の活動の計画や目標は?

年々、会員が少なくなっており、活動に不便を感じるときもあるので、会員を増やしたいと思っています。その
ために、小町ふれあいフェスタで、会員勧誘のチラシを百枚ほど配布するなどの活動を行っています。

最後にひとこと

菊の花は国花です。皆さんにもっと関心を持ってもらって、ぜひ参加してもらいたいと思います。

(インタビューは、議会広報編集委員会が行いました。)

●あとうがき●

今年も十二月に入り、人々
が慌ただしく往来する時季と
なりました。

今年は大震災からの復興
元年と位置づけ、大震災前の
安全・安心な生活環境を取り
戻すために、町民の皆さんと
共に取り組んで来ましたが、
まだまだ道半ばであります。

一日でも早く町民の皆さん
が、復興したことが実感でき
るようにするために、議会と
して尚一層努めてまいります。
今年一年、議会だよりを讀ん
でいただき、ありがとうございました。

御家族皆さんでよい年をお
迎えください。

議会広報編集委員
田村 弘文